



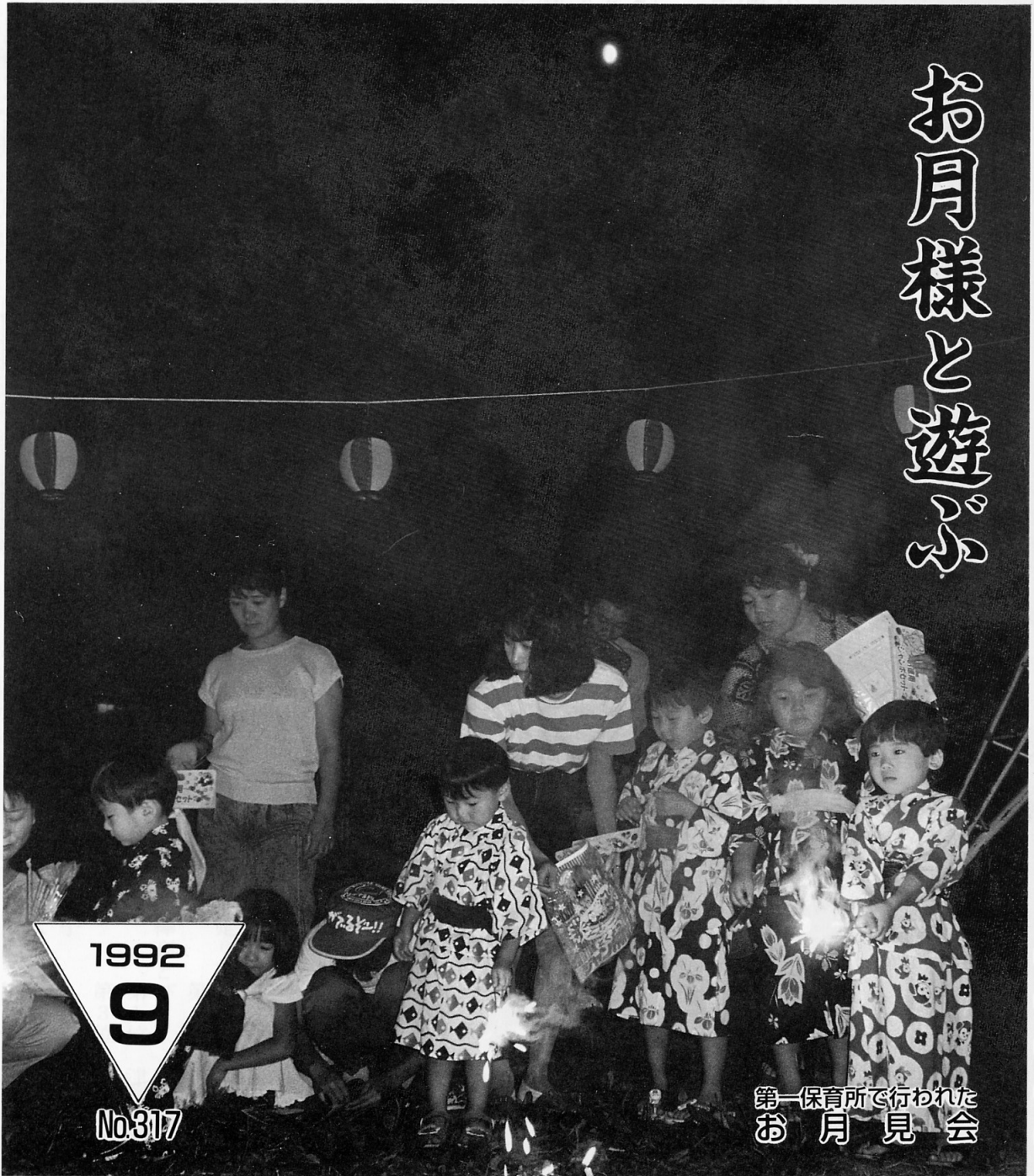
広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240



お月様と遊ぶ

1992
9

No.317

第一保育所で行われた
お月見会

PHOTO

行く夏を惜しみ各地で祭り

津軽の火祭り

今年で第5回目を迎えた「津軽火祭り」は、金木八幡宮宮司により豊作祈願火入式が行われ、五穀豊穣を願い、漆川登山囃子保存会、虫送りの山車で町内を練り歩きました。また「津軽神楽」や秋田県「大館曲げわっぱ太鼓」、「古城ひとみ歌謡ショー」などイベントも盛り沢山。商店会による旅行などの抽選会もあり、見物している人たちも大喜びでした。

金木夏まつり

田中町長、今商工会長ら祭関係者を先頭に、金木・金木南中学校ブラスバンド、嘉瀬小学校・金木南中学校の児童

生徒と嘉瀬奴祭踊保存会による華麗な手裁きの奴踊り、さらには商工会青年部による力強く賑やかな御輿のパレードで開幕。何といってもメインはねぶた運行。今年は4台の人



形ねぶたが出陣し、ねぶたを引つ張る子どもたちの「ヤーレヤレーヤ」の威勢よい掛け声と共に沢山の観客が見守る中、町内を練り歩きました。

嘉瀬奴祭仮装盆踊り大会

嘉瀬商業会主催で行われて

いる「嘉瀬奴祭仮装盆踊り大会」が今年45回目を迎え盛大にとり行われました。

嘉瀬古町の会場にやぐらを組み、その周りを「おてもやん」、「ミス外人」等に仮装したグループや個人80名が囲み自慢の踊りを披露。踊りが進むにつれ盛り上がり、沿道で見ている人たちも飛び入り参加するなど夜遅くまで汗だくになりながら踊っていました。

喜良市子ども会ねぶた合同運行

喜良市地区子ども会連合会主催のねぶた合同運行で、12台のねぶたが喜良市町内を練り歩きました。

12台ものねぶたが一斉に列をなすと、大型ねぶた顔負けの迫力を醸し出し、沿道で声援している人や参加者たちで大いに賑わいました。



健闘総合12位

第47回 県民体育大会

スポーツの祭典、第47回市町村対抗青森県民体育大会が8月8日～9日十和田市をメイン会場に各市町村を代表する選手が集い、熱い戦いを繰り広げました。

かわらず選手一人一人が丸となった普段の成果を發揮し見事町の部で総合12位と過去最高順位を記録しました。

2年連続2回目の優勝

永年にわたり最下位グループ低迷に甘んじている当町としては、今回こそは上位進出を目指すべく8月5日に結団式を行ない、多大な激励を受け、又野球部川口智主将の力強い選手宣誓のもといざ出陣。

今年は、昨年に続き連覇を目標む野球部に一層の期待がかけられ、強烈なプレッシャーの中初日の一回戦、準々決勝は終始主導権を握ったゲーム展開も一点差勝負と、熾烈な争いで準決勝進出。二日目は台風の影響で朝から雨が降り試合が危ぶまれたものの係員の必死のグラウンド整備により決勝進出を駆けプレイボール。ぬかるんだグラウンドも何のその、初回いきなり石戸谷選手のホームランでリードを奪うと終始優勢。4回にまたまた白川選手にホームランが出てほとんど勝利は決定的。投げてはエース渋谷選手がリードを踏ませぬ力投を見せ決勝に進出しました。



2年連続優勝の野球

この勢いで決勝もと願った

ものの雨には勝てず、2チーム同時優勝。2年連続2回目の優勝に輝きました。

うれしい初V

重量挙げでは強豪がひしめく100キロ級個人の部で福山選手が220キロ（スナッチ100・ジャーク120）を挙げ、2位に45キロもの差をつけ圧勝。見事初の栄冠に輝きました。また90キロ級では清野選手が惜しくも2位。67・5キロ級の中田選手も3位に食い込むなど大健闘を見せました。



3位入賞のテニス

決勝進出逃す

順当に1回戦、準々決勝とコマを進めたテニスは準決勝で昨年優勝の強豪尾上町と対戦。1対1で迎えた3戦目、惜しくも力尽き3位にとどまりました。

今大会の成績は次のとおり。

◎軟式野球 優勝

（2年連続2回目）

1回戦 1-0（百石町）

準々決勝 3-2（平賀町）

準決勝 5-0（平内町）

※決勝は雨天のため中止。

金木町、階上町同時優勝

◎重量挙げ

個人 優勝 福山和人（100キロ級）

団体5位

2位 清野 司（90キロ級）

3位 中田紀人（67・5キロ級）

◎テニス

1回戦 2-1（平内町）

準々決勝 2-1（鶴田町）

準決勝 1-2（尾上町）

◎総合得点 36・5点

◎総合順位 12位

第22回全日本少年相撲選手権大会

団体 第3位 金木中学校
個人 第3位 西村 公憲

第11回青森県小学校相撲大会

団体 第3位 嘉瀬小学校
団体 第4位 金木小学校
（両校とも東北大会進出）

第14回全日本少年武道錬成大会

銃剣道 小学1年生以下の部 第3位 田中 孝章

第39回西北五中学校陸上競技選手権大会

男子 1-000m 第2位 松橋 新一
1-1500m 第1位 外崎 賢吾
3-3000m 第3位 外崎 賢吾

1-1000m 障害 第1位 今 祐介

走り高とび 第3位 山田 幸成

棒高とび 第1位 津島 教道

女子 8-000m 第3位 小山内由美

大盛況 金木町

フェスタあおもり'92

県内67市町村が一同に会し、これまで取り組んできた地域づくり推進事業の成果を県民に広く知ってもらおうと、「ふるさとあおもりフェスティバル'92」が8月22日、23日青森県営スケート場で行なわれました。



金木町のブースはいつも人でいっぱい

試食コーナーなど各市町村がそれぞれ工夫を凝らし特色を出していました。このほか、県産品の展示即売コーナーや民芸品の制作実演コーナーなどもあり、多

安全で明るい出稼ぎを

「安全で明るい出稼ぎの実現を」と、8月14日、中央公民館に出稼ぎ者と関係者約70人が集まり「出稼就労者



御誠いを受ける出稼ぎ者

組合総会と安全就労大会」が開催されました。出稼就労者組合総会では、田中勇治会長（町長）が「地元で働ける場所確保（企業誘致）のため、努力していきま

す。事故、けが等に注意して働いて下さい。」とあいさつした後、平成4年度事業計画、予算等全議案が満場一致で承認され、今誠康県議会議員、古川哲雄町議会議長をはじめ来賓の方々から祝辞が述べられました。

総会に引き続き行なわれた就労大会では、神事により出

稼者の安全を祈願し、出席者が神妙な面持ちで御誠いを受けました。



やっと完成しました



町長の指示で花壇造り



慣れない手付きでも頑張ってます

このほど町では、金木町を訪れる方々が気持ち良く町内に入ってこられるよう町の玄関先でもある消防署前の三角地帯を買収し、役場職員による手作り花壇を整備しました。花壇は町長自らが指揮をと

り、役場職員が造ったもので職人が造ったものとは比較できませんがアットホームな雰

きれいになった町の玄関先

囲気の花壇となりました。また、来年度以降には町のシンボリックな施設を整備する計画となっておりますが、しばらくはきれいな花壇が楽しめます。



これ何という魚？

あなたもリポーター

金中3年生 地引き網とキャンプ体験

レポート 白川 信一

ひととき暑さも増した7月20日、市浦村の中の島で、金中3年生と父兄約150人で地引き網やキャンプの体験学習が行なわれました。

この体験学習は、地引き網やキャンプを通して生徒、父兄、先生方のふれあいの場を持ち、津軽の良さを知ってもらうとPTAが企画したものだ。

地引き網は、クラス別に3回行なわれ、初めての体験とあってみんな一生懸命。「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声と共に引き上げ、見たことの無い魚にびっくり。漁師さんが質問せめに合う場面も。

この後、引き上げた魚を料理してもらい夕食時に試食。自分で引き揚げた魚だけに味は格別。

夜にはキャンプファイヤーを行ない、この日の出来事をいつまでも語り合っていました。この体験は、子ども達にとつてすばらしい思い出になったことと思います。

バスの手配やら何やら、教育委員会、民生課、総務課の皆さんにご協力頂きました。ありがとうございました。

この記事は、地引き網とキャンプを体験したPTAの方からお寄せ頂いた記事です。皆様のお近くにもホットな話題がありましたら、役場企画室までお寄せ下さい。

元東映フライヤーズ 尾崎行雄氏を迎え

少年野球教室

このほど金木町体育協会（会長 今誠康）が後援となり、元東映フライヤーズの尾崎行雄氏を迎え、小・中学生を対象に少年野球教室を開催しました。

野球教室は、これから甲子園を目指す小・中学生に野球の基本をしっかりと身につけてもらおうと行われたもので、

金木・嘉瀬・喜良市・川倉の各小学校、金木・金木南中学校の野球部員120名が芦野グラウンドに集合。キャッチボールの仕方、バッティングの基本など、普段したことのないような多彩な練習方法で、時には厳しく教わっていました。

最後に、尾崎氏がピッチャ

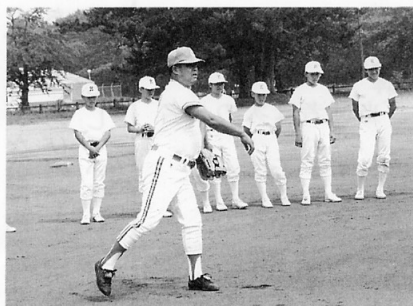
136人が大人の仲間入り

8月15日、中央公民館で、今年二十歳を向かえる136人が集まり、成人を祝う会が行なわれました。

祝う会では、田中町長が「成人になることにより、権利を与えられるが、同じように義務も果たさなければならぬ」ということを忘れず頑張ってください」とあいさつ。成人を代表して、中村健一郎さんが「成人として恥じないよう頑張ります。」と謝辞を述べました。

また、山中貴美子さん、三上真澄さんが「主体性を持ち自分の道を切り開いていくよう頑張ります。」と二十歳の主張を発表。記念写真撮影の後

祝宴が行なわれ、金木町津軽三味線教室の生徒による三味線演奏が披露され、二十歳の祝いに花を添えていました。



キャッチボールはこうしてするんや!!

を務める関係者チームと、中学生チームで練習試合が行なわれました。子ども達にとって、これから野球を続ける上で大いに参考になったと思います。



謝辞を述べる中村さん